tums グループの職員は
皆様の一生を支える
“ちいきヒーロー”をめざします。

ちいきヒーロー

Q1：施設の魅力　Q2：やりがい・働く中で一番うれしかったこと　Q3：地域の皆様へ伝えたいこと

医療



松井 真由美
六町駅歯科クリニック
歯科衛生士

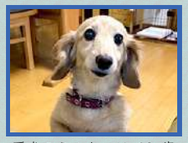
A1 乳児から高齢の方まで、地域の健康増進に真剣に取り組んでいます。つくばエクスプレスの六町駅直結の好立地で、来院された患者さんはもちろんのこと、高齢者施設などへの訪問治療も行っています。

A2 私は福祉施設や病院への訪問治療を担当しています。一般診療とは違い、高齢の方や、入院患者さんの場合、全身の状態やその日の体調を考えながら治療や口腔ケアを行う必要があるので、配慮や気遣いを大切にするようにしています。人生の先輩とお話をするのはとても楽しいですし、「ありがとうね。さっぱりして気持ちがいいね。」といっていただけたり、ご家族の方に喜んでいただけるのはとてもうれしいですね。

A3 ご自身では気づかない部分で体に不具合が生じていることもあるかもしれません。健康に長生きするためにも口腔ケアを受けることは大事です。お口の中を清潔に保つことで様々な感染症や病気を予防することもできますので、ぜひ定期的に歯科検診を受けに来ていただけるとうれしいです。皆様のお役に立てるよう頑張ります。



大好物は海鮮丼！
いろんなお店に食べに行ってます！



愛犬のミルキーは 10 歳のおばあちゃん犬ですがかわいいです！

六町駅歯科クリニック



一般歯科、小児歯科、口腔外科、歯周病治療、審美歯科治療、インプラント治療まで、院内での治療と訪問診療を行っています。

福祉



鈴木 静香
特別養護老人ホーム 三郷さくらの杜
生活相談員／副主任

A1 温かい雰囲気で自然豊か、おむつゼロをめざすなど自立支援と機能訓練が充実した施設です。地域柄これまで農業をされていた方が多いので、家庭菜園があることはとても好評です。

A2 生活相談員として「施設に入るためには？」「この施設はどんなところ？」という疑問や不安を抱えてこられる方のお話を伺っています。特別養護老人ホーム入居には要件があり、来館された皆様が必ずしも入居該当者というわけではありませんが、ご入居前・後もお話をすることで不安が少しでも軽減されたり、安心することができたらうれしいなと思います。様々な方々のお話を聞く立場として、ご家族や利用者さん、スタッフから頼りにされているなあと思った時にこの仕事についてよかったと思います。

A3 誰もが年を重ね、病気になる。私もそうだと思います。自分自身やご家族のことで「話を聞いてみたい」と思ったら、できる限りの提案をさせていただきます。不安が大きくなる前にほんの少しでもお役に立ちたいですね。





観光地にある顔出しパネルで写真を撮るのが趣味です。ご当地のグッズなんかも買ってしまいますね（笑）

特別養護老人ホーム 三郷さくらの杜



在宅での生活が困難となった要介護度３以上（特例有）の高齢者の方が原則として終身でご入居いただける公的施設。当施設はユニット型です。

保育



吉野 知未
病児保育室 東小岩わんぱく
保育士／主任

A1 病児保育室は、クリニックに併設されていますので、医師・看護師との強い協力体制が魅力だと思っています。お預かりしたお子さんの状態に合わせてすぐ相談し対応ができるようになっています。

A2 「初めまして」から始まり不安な表情でいらっしゃったお子さんが、お迎えの時には「また来るね」といってくれること、保護者の方からも「預けてよかった」と声をかけていただくことや、「うちの子は大きくなったら病児保育室の先生になりたいと言っているんです」と声をかけていただいたこともあり、私自身通園していた保育園の先生に憧れて保育士になったので、同じように思ってもらえてうれしかったです。うれしいことは日々沢山あり、選ぶのが難しいですね。

A3 仕事と子育ての両立は並大抵のことではないと思います。急なお子さんの体調変化に戸惑うこともあると思いますが、そんな時でも通常の保育園と同じように預け先があるということが、安心につながりお力になれればと思っています。



インスタントカメラを買ったので、感染症が落ち着いたら撮影にいきたいです！



お預かりしたお子様が作ってくれたロボットです。かっこいいですよね！

病児保育室 東小岩わんぱく



お子様が病気やケガをしてしまったけれど、お仕事等でご自宅での看護が困難になった時、お子様を一時的にお預かりし、保育及び看護ケアを行う施設です。

問う輪。

人生におけるあらゆる過程をｔｕｍｓグループで。
多業種連携にコミットする桐和会の輪を問います。

川口さくら病院

内科・精神科（認知症専門）・リハビリテーション科
病床数：３４０床

地域の皆様の生きるを支える


鈴木 浩
医事課長

大木 文栄
医療相談室長


田口 一之
事務長


石井 篤
リハビリテーション科長


檜木野 桃子
看護部長

◆早期入院・早期治療 早期退院に向けたサポート

大木「当院には在宅や施設で体調の悪くなった方、連携機関よりご紹介いただいた方、一般外来、救急外来にお越しいただいた方など幅広い年代の方が入院されています。」

鈴木「肺炎と認知症を発症しているなど他院では受け入れが難しい病状でも、当院は認知症病棟が核となり、４つの病棟があるので、適応する病棟を探すことができるようになっています。」

田口「病気になり始めの時期から病状が安定し始め身体機能の維持や改善を図る時期までの各段階に合わせた治療ができます。入院に関するレスポンスの速さも自慢ですよね。」

大木「面談前や手術後、抜糸前であっても、ご本人とご家族にご希望があればすぐに入院やリハビリの手続きが取れるようになっています。」

石井「リハビリ担当が生活の場面にも介入してサポートを行い、病棟での様子を見ながらその方に合わせたプログラムの制作を行うことで、回復期リハビリテーション病棟の在院日数は５０日を切っているんです。（※全国平均６９．３日）１日でも退院が早ければ本人もご家族も安心ですし、入院費の負担も軽くなりますよね。」

檜木野「患者さんが日常生活を取り戻せるように、できる限りお薬を使用しないで認知症によって引き起こされる行動を抑えるような非薬物的なケアを行っています。今、精神科の医師と認知症の認定看護師等で在宅や地域へ早期に戻ることができるよう認知症対策チームを作り準備しています。川口の中で認知症の認定看護師がいるのは当院だけなんです。排泄ケアにもチームがあって、様々な職種で連携し患者さんの個別性に合わせた対応を行っています。」

石井「退院後は、グループ内に特別養護老人ホームや介護老人保健施設、グループホーム、訪問診療・看護・リハビリテーション、デイケアなど様々な選択肢があります。入院時と同じ当院の担当がお伺いすることもあり、安心できる要素の一つになっています。」

◆地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟新設による変化

石井「セラピストが増えたので、他院・施設の方から、日常生活活動が向上した、再入院が減ったという話をよくいただけるようになりました。」

田口「職員が多数入職したことで全体的に若返りましたし、携わる患者さんの幅も広がりましたね。」

鈴木「これまでは一般病棟での長期入院の受け入れが難しいため、状態によっては施設等に戻っていただかなければならないということもありましたが、地域包括ケア病棟ができてからは、治療継続でさらに６０日までいられるので、その間に病気を治して、しっかりした状態で帰っていただける方も多くなりました。患者さんを迎え入れるご家族や施設等も安心なのかなと。」

◆グループ連携による強み

鈴木「認知症診断においては、ＣＴだけではなく、ＭＲＩも撮ったほうが良いとされています。診療予約をいただいた際に、当院からグループのタムス市川リハビリテーション病院もしくは新小岩駅前総合クリニックへと送迎をさせていただき、検査結果を見ながらクリニックの外来で月～土まで診察を受けていただくことができるようになっています。一般外来を担当している川口さくらクリニックの大庭建三院長（７３歳）は老年内科を長いこと担当されている信頼できて安心できる、患者さんも多い先生なんですよ。」

石井「クリニックの在宅部門から依頼をいただき、病院のリハビリ職員がご自宅を訪問してリハビリを行うこともあります。医療・福祉・保育での連携の強さは魅力になっていると思います。」

◆地域の皆様へのメッセージ

大木「患者さんが病院にいらっしゃってから、地域へ戻ってもその人らしい生活ができるよう努めています。」

檜木野「地域の皆様にとってかかりやすく、ここに来たら元気になって帰れる！という場所になれたら嬉しいです。」

鈴木「何か心配なことがあるときは川口さくらクリニックが最初の窓口になっており、検診から症状次第では当院への入院まで対応することが可能です。」

石井「近隣の地域リハビリや訪問・通所を担当されている職員の方々をお呼びして勉強会を開いており、法人内での技術向上はもちろんのこと、地域全体で患者さんの生活の質の向上のためサポートさせていただきます。」

田口「外来・入院・退院後は訪問看護や訪問診療を行うなど、フォローアップ外来までトータルで行える病院になっています。幅広い年齢に対応でき、気軽にかかれる医療機関として地域の皆様の健康管理を〝あんしん〟と〝まごころ〟を持って職員全体で見守っていきたいと思います。なかなか向き合うことができない認知症についてもしっかりとお話を伺い、サポートできる環境を整えていますので、健康面が気になる場合はお気軽にお越しください。」





川口さくら病院
埼玉県川口市
神戸 258-1
☎ 048-283-1200

※参考資料：2018 年 2 月発行「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書」一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協議会